

クラウドで、世界を、 もっと、はたらきやすく

株式会社サーバーワークス 会社説明資料

2025年4月 更新

クラウドで、世界を、もっと、はたらきやすく

AWS専業で唯一の上場企業

私たちはAWS(アマゾン ウェブ サービス)に特化したインテグレーション事業とサービスの提供を行っている、クラウドインテグレーターです。

2009年よりいち早くインテグレーション事業を開始し、AWS最上位パートナーである「AWS プレミアティア サービスパートナー」に10年以上継続認定されています。

コンピューターの場所にしばられず、所有による制限にしばられず、自由にコンピューターを使いこなす「クラウドというアイディア」をもっと世の中に広めたい。

そして、より多くの企業がクラウドによって競争力が増し、そこではたらく社員のみなさんが「はたらきやすい環境になった」と喜んでいただける社会にしたい。

そんな想いを、「クラウドで、世界を、もっと、はたらきやすく」という言葉に込めました。

POINT

「上場×AWS専業プレミアティアパートナー」
という位置づけでは
業界で唯一の存在となります





目次

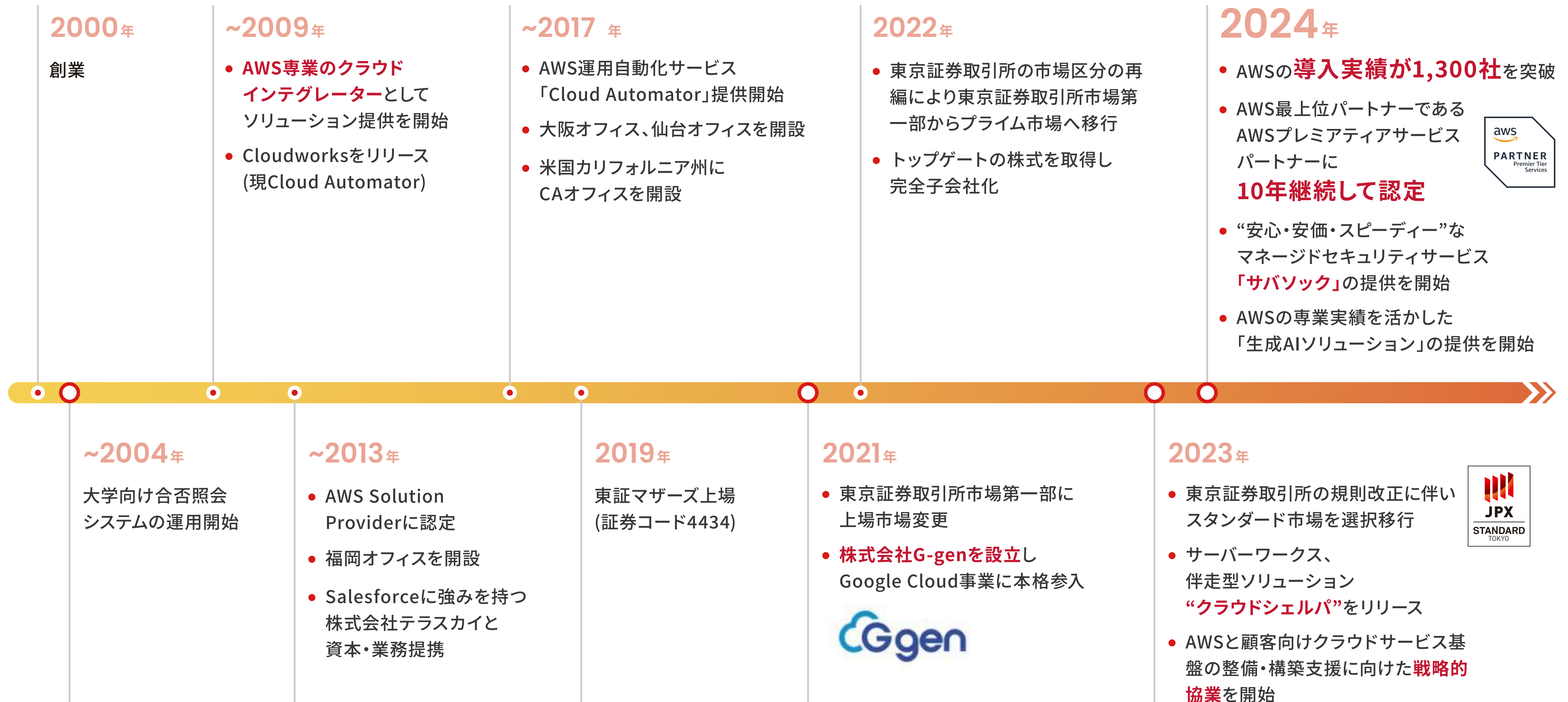
1. 会社概要	04
2. 事業	08
3. 組織	16
4. カルチャー	19
5. 働き方・制度	29
6. 採用	42
7. サーバーワークスの今	48

1. 会社概要

About us

社名	株式会社サーバーワークス
所在地	〒162-0824 東京都新宿区揚場町1番21号 飯田橋升本ビル2階
代表者	大石 良
設立	2000年2月21日
従業員数	495名(連結) 394名(単体) ※2025年2月末日現在
資本金	3,270,337,821円 (2025年2月末日現在)
関連企業	株式会社G-gen パーソル&サーバーワークス株式会社 富士フイルムクラウド株式会社 株式会社サーバーワークス・キャピタル 株式会社サーバーワークス・スマートオペレーションズ





社員が働きやすい環境を整え、業務の生産性を最大化するために様々な工夫を施しています。

対話や協力が必要な場面ではコラボレーションスペースが利用でき、集中して作業する際には専用のスペースが確保されています。

大阪オフィス



新潟オフィス



仙台オフィス



東京:ANNEX別館



福岡オフィス



東京オフィス



2. 事業 Business

AWS専門のクラウドインテグレーターとして

クラウド戦略のコンサルティング、導入支援から クラウド移行後の監視・運用まで一貫したサービスを提供

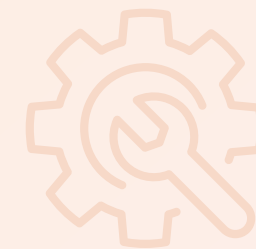
AWS



請求代行・技術サポート

- ✓ AWS 請求代行サービス
- ✓ アドバンスドプラン
- ✓ ディスカウントプラン
- ✓ スタートアッププラン

導入支援



設計・構築・伴走支援

- ✓ 導入コンサルティング
- ✓ AWS 構築・移行支援
- ✓ 内製化・トレーニング
- ✓ 特化ソリューション

保守



監視・運用・最適化

- ✓ AWS 運用代行・監視サービス
- ✓ AWS 運用最適化サービス
- ✓ コスト削減
- ✓ コンサルティング

自動化



ジョブ・ポリシー管理

- ✓ 独自開発
- ✓ Cloud Automator

基本サービス

ご要件・ご要望に応じてご選択可能

なぜAWS事業を始めたか

始めた背景

今でこそ私たちはAWS専門のクラウドインテグレーターを標榜していますが、以前は大学向けの合否案内をするWebサービスを提供していました。

しかしこのシステムには大きな課題があって、合否発表が集中する2月の朝10時から10時15分の15分間のためだけにサーバーが200台ほど必要で、非常に費用対効果が悪かったのです。この問題の解決策を探していたところ、Amazon社が仮想のコンピューターをネットワーク越しに1時間10円で貸してくれるということを知って使い始めた。それが私たちとAWSとの出会いでした。

私たちは「これは本当にITの世界が変わる」と確信し、2008年に「もうこれからは社内でサーバーは買わない」という宣言を、そして2009年からはAWS専門のクラウドインテグレーターに転換。現在に至るまで「クラウドで、世界を、もっと、はたらきやすく。」というビジョンのもと、様々なお客様の課題をクラウド導入を通じて解決するという事業を進めています。

また、先の東日本大震災では、震災後に過負荷でダウンしてしまった日本赤十字社のウェブサイト을、AWSを使って復旧。さらに3,200億円超の義援金を集めるシステムをわずか

48時間で構築しました。これは、クラウドのもたらすスピードと高いセキュリティを両立した事例として広く知られるようになりました。

震災の折、多くの企業で「技術者がデータセンターに派遣される」ということが行われました。電車は止まり、タクシーによる移動もままならず、家族の安否もしれぬ状況でも、「サーバーの様子を見に行け」という会社からの命令が下ったのです。

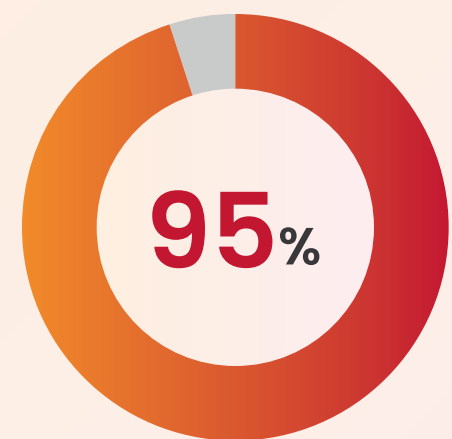
私たちは、生活を豊かにし、よりよい社会を築くためにITを利用しているはずですが、実際にはコンピューターの場所に私たちの活動がしばられ、コンピューターのお守りをするために企業の貴重な人材が割かれている、ということが未だ多くの企業で起きています。

コンピューターの場所にしばられず、所有による制限にしばられず、自由にコンピューターを使いこなす「クラウドというアイデア」をもっと世の中に広めたい。そして、より多くの企業がクラウドによって競争力が増し、はたらく社員のみなさんが「はたらきやすい環境になった」と喜べる社会にしたい。そんな想いを「クラウドで、世界を、もっと、はたらきやすく」という言葉に込めています。



我々は、“一緒に最良のシステムを実現できる”
より良いパートナーであるために、常に最新の技術をお客様へご提供します

reason 01



満足度95%以上※

人と企業に寄り添う
クラウド
インテグレーター

reason 02



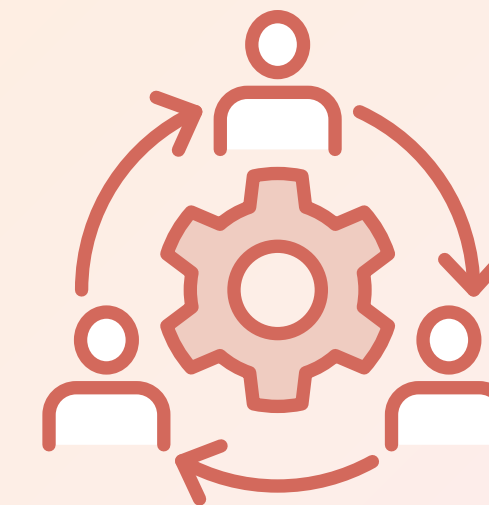
AWSから認定された
最上位パートナー

reason 03



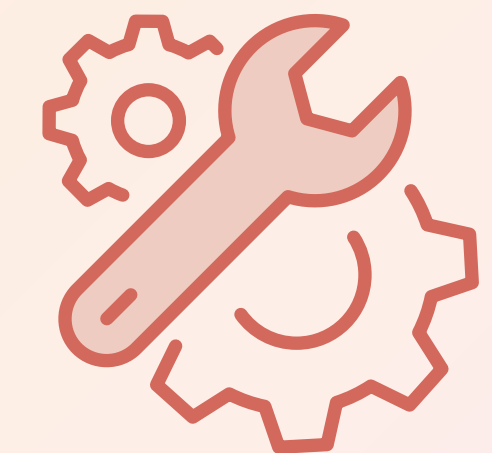
AWS専業で
唯一の上場企業

reason 04



導入から運用保守まで
ワンストップ対応

reason 05



AWS公認
国内トップの技術力

※2022年6月～2023月4月末までのデータ

AWSパートナーの中でもトップの 「AWS プレミアティア サービスパートナー」に11年継続して認定されています

| 受賞歴

- パートナーアワード(2013)
- パートナーアワード 事例部門(2014)
- APN Customer Success of the Year 2017 – Japan (2017)

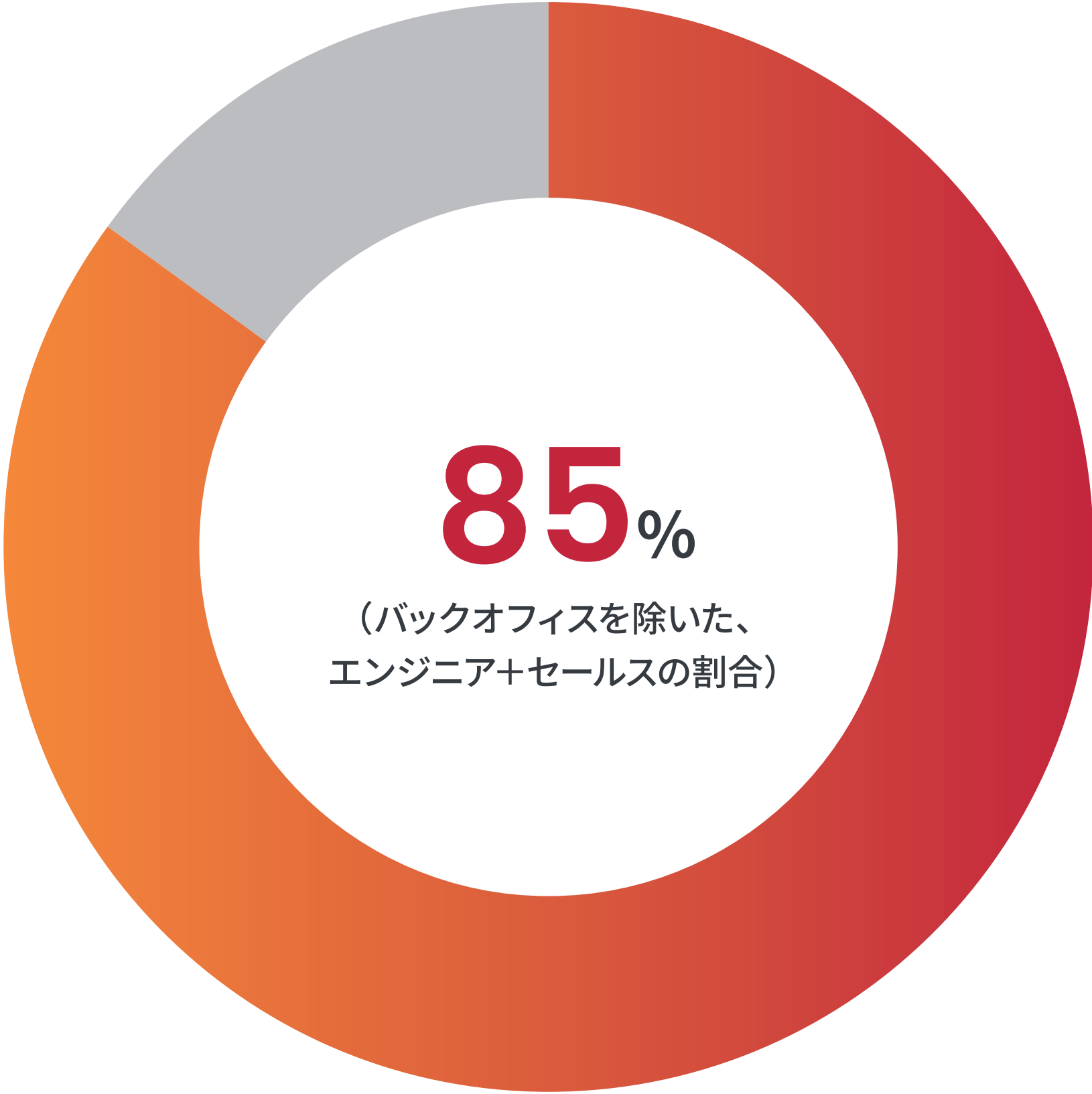
| 多くの認定を獲得

- AWS デジタルワークプレイスコンピテンシー
- AWS 移行コンピテンシー
- AWS SMBコンピテンシー
- AWS Well-Architected パートナー
- AWS 公共部門パートナー
- Amazon Connect サービスデリバリープログラム
- Amazon Redshift サービスデリバリープログラム
- AWS マネージドサービスプロバイダー(MSP)パートナープログラム

AWS Premier Tier Services PARTNER



AWS 認定資格取得率

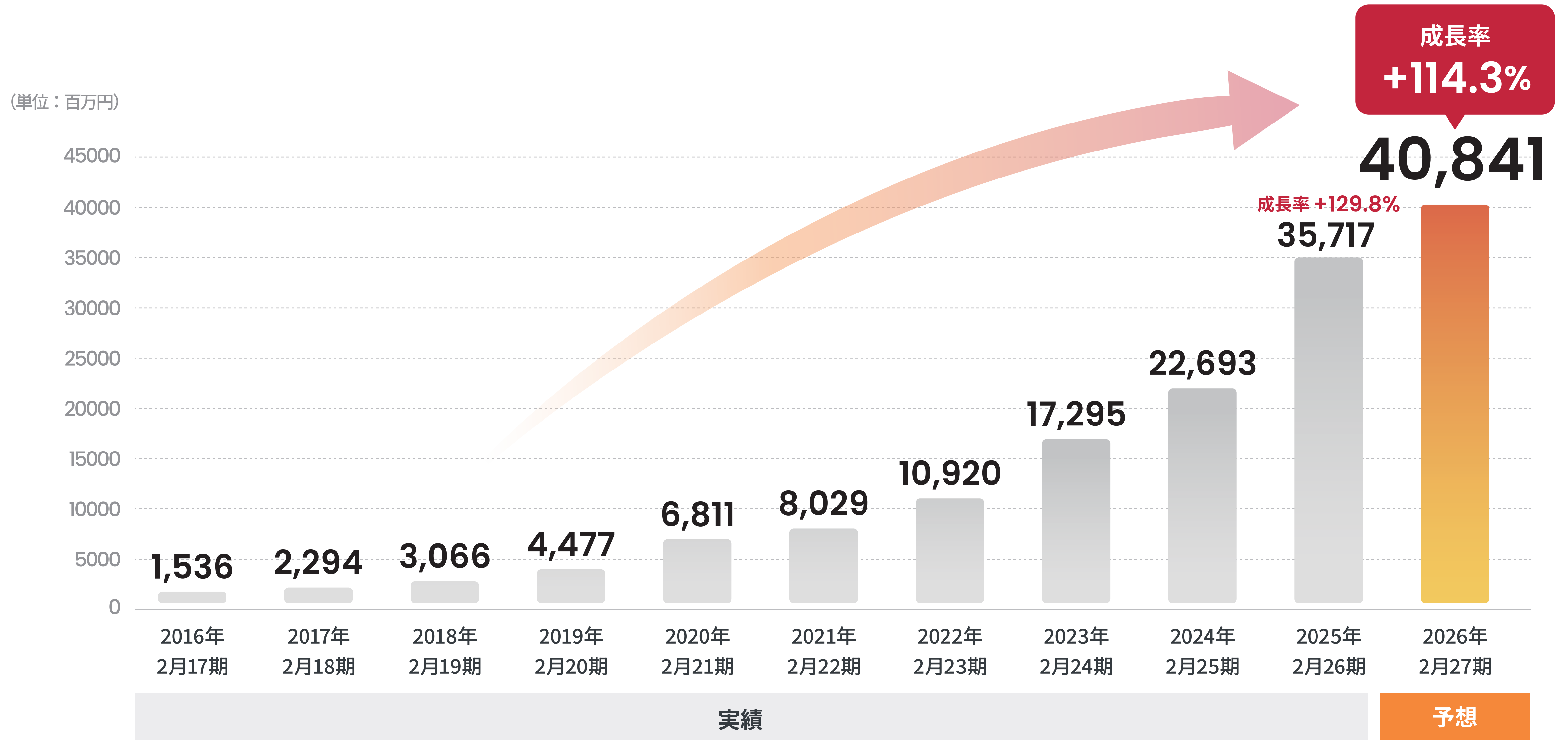


受賞歴

● Solution Architect - Associate	169名	● Machine Learning - Specialty	50名
● Solution Architect - Professional	129名	● Database - Specialty	49名
● Developer - Associate	119名	● Data Analytics - Specialty	42名
● DevOps Engineer - Professional	90名	● SAP on AWS - Specialty	37名
● SysOps Administrator- Associate	118名	● Data Engineer - Associate	49名
● Advanced Networking - Specialty	67名	● AI Practitioner	65名
● Security - Specialty	93名	● Machine Learning Engineer - Associate	39名
● Cloud Practitioner	172名		

総資格保有数 のべ**1,288**名

(2025年2月末時点)



2023年よりAWSと顧客向けクラウドサービス基盤の整備・構築支援に向けた戦略的協業を開始

戦略的協業の概要

01 エンタープライズ企業のクラウドインフラ共通基盤の整備

エンタープライズ企業のDX促進に向け、サーバーワークスはAWSと協力し、クラウドインフラ基盤の構築サービスを2023年夏に提供予定です。過去の豊富な実績を活かし、クラウド移行やモダナイゼーションを支援するパッケージ化されたサービスを展開し、製造業や金融業などを中心に最適なクラウド活用を支援します。

02 中小企業(SMB)におけるAWS活用とDX推進

サーバーワークスは、日本の中小企業が直面するDX推進の課題を克服するため、AWSを活用したクラウドマイグレーション支援を強化します。AWS MSPプログラム認定を持つ同社は、運用自動化やシステム最適化を通じて、中小企業の持続可能な経営を支援し、DX推進を加速します。

03 Amazon Connectによるクラウドコンタクトセンター構築支援

コロナ禍によるニーズ拡大に応え、サーバーワークスはAmazon Connectを活用したクラウドコンタクトセンター構築を強化しています。70社以上への導入実績を持ち、AWSのノウハウと自社の専門チームによるサポートで、CRMやAIと連携する多様な自動化ソリューションを提供し、幅広い業種のニーズに対応します。

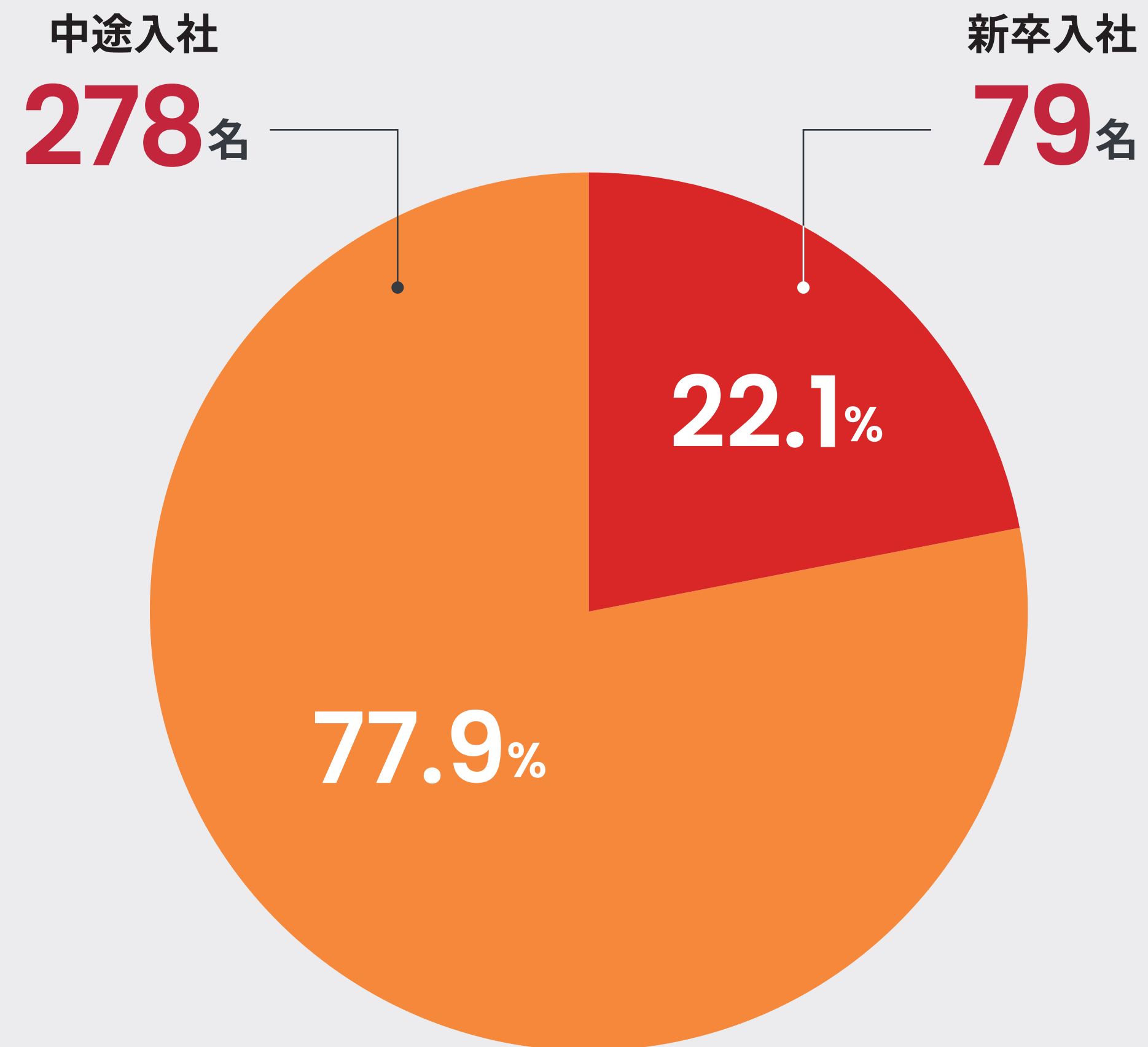
04 デジタル人材育成のさらなる強化

サーバーワークスはAWS認定資格者を増やし、CCoE組織を設立してインフラ基盤のガイドライン作成を支援する人材を育成します。さらに、技術力の高いエンジニア育成に注力し、AWSトレーニングパートナーとして培った知見をお客様に提供し、DX推進をサポートします。

クラウド移行や最新のクラウド技術の活用の拡充を図り、国内のすべての企業がクラウドを有効活用し、
新たなビジネス機会を創出できるよう支援を拡充する

3. 組織 Organization

入社区分



(2025年4月時点)

入社の決め手

仕事内容

25%

社風

18%

面接官の人柄

16%

柔軟なはたらき方

15%

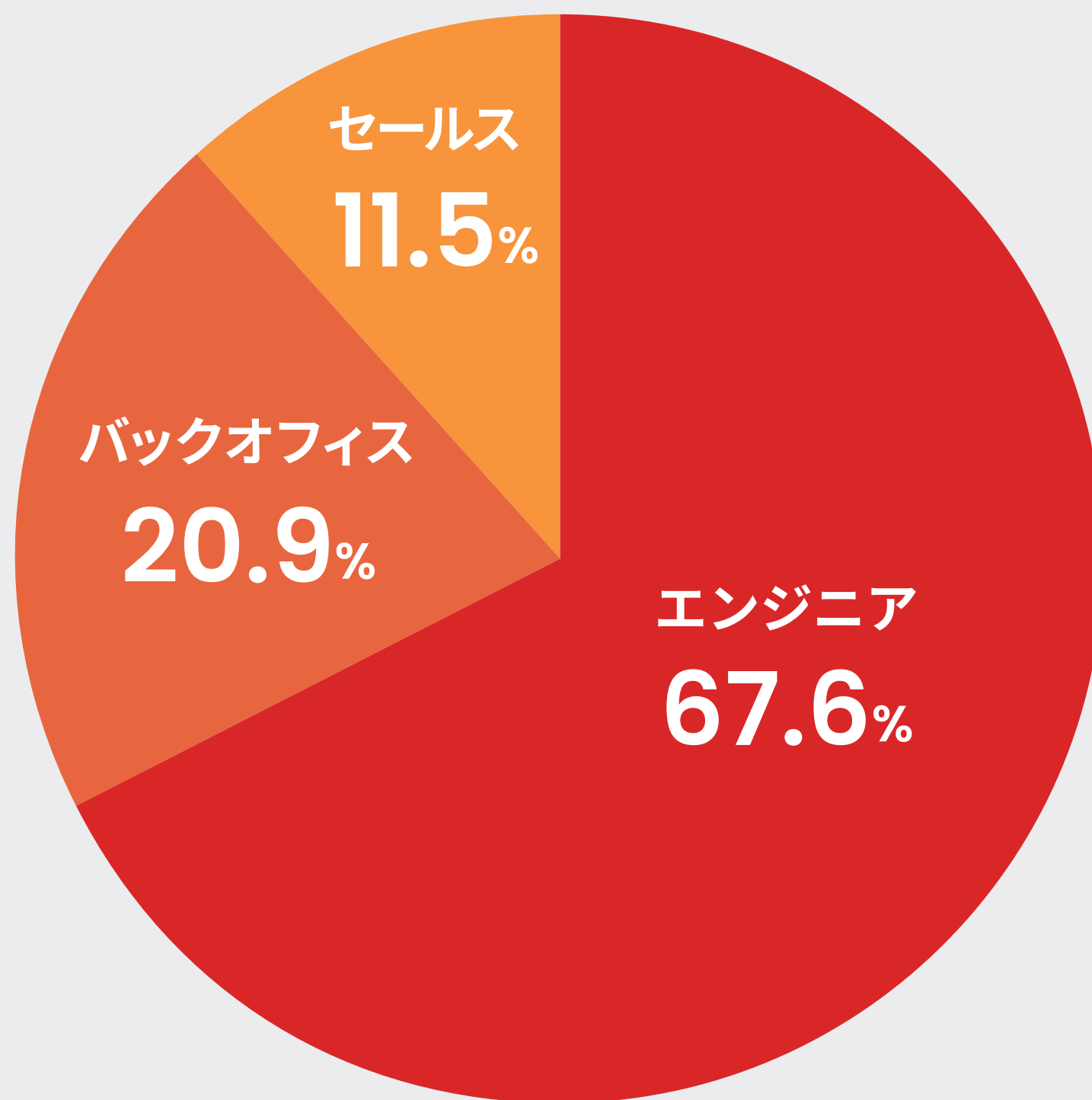
会社のビジョン

13%

その他

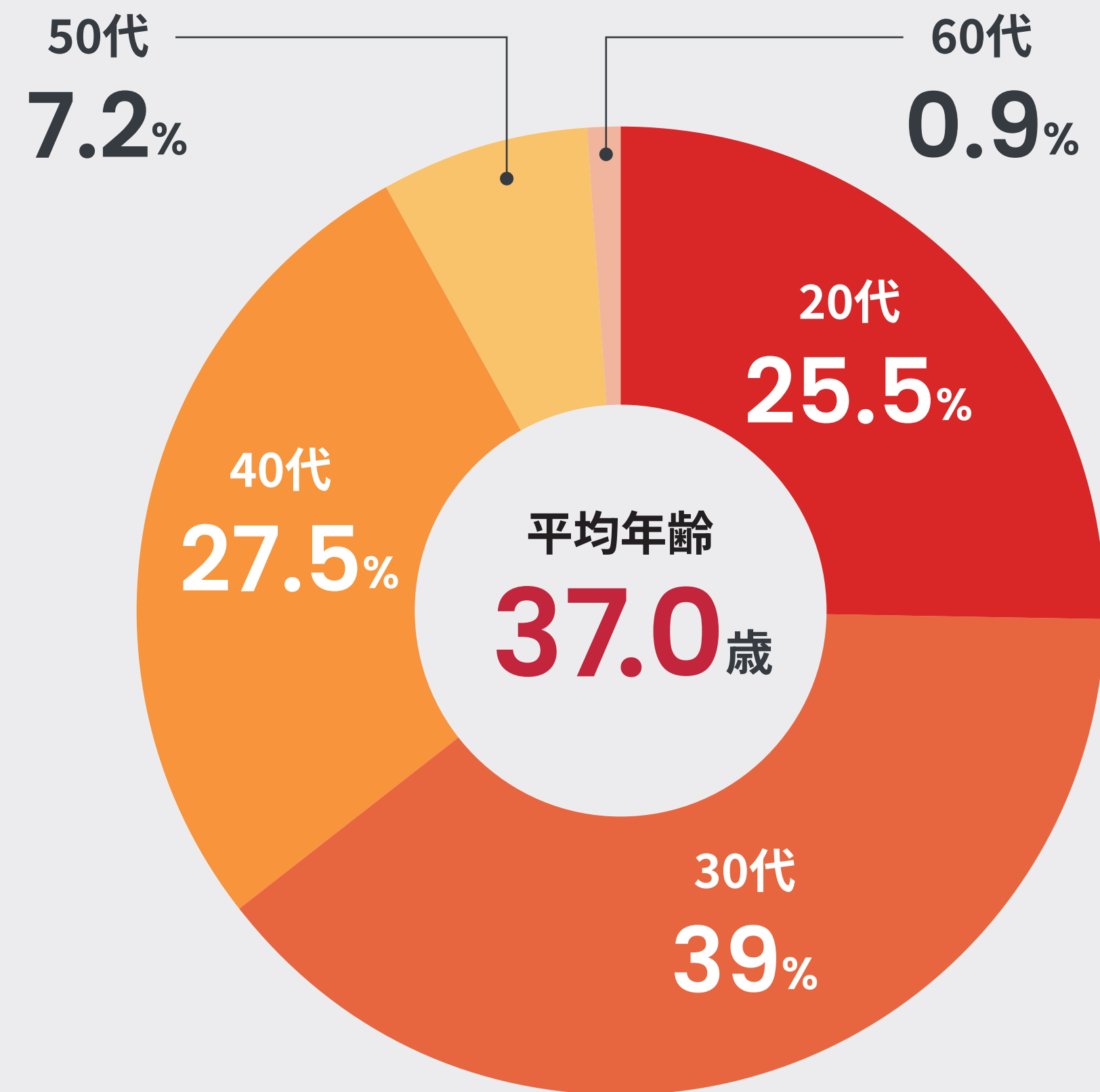
13%

職種別



(2025年4月時点)

年代別



※役員は含まれていません (2025年4月時点)

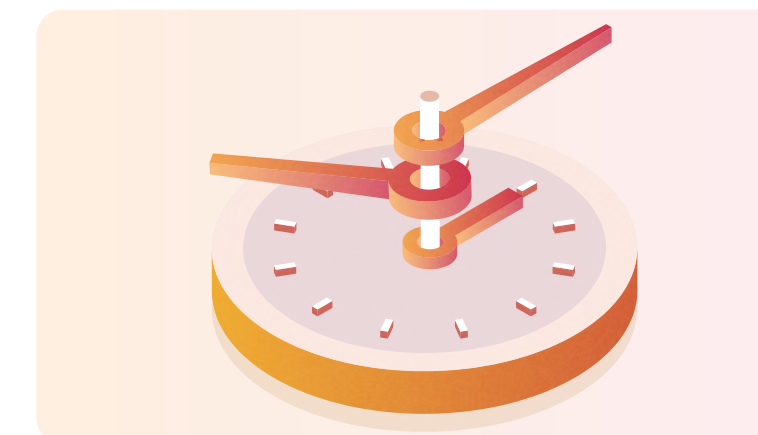
4. カルチャー Culture

サーバーワークスのVALUE(行動指針)

スピード

私は、何よりもスピードを優先します。私の身の周りに起きていることは、正解が無く、判断に必要な正確な情報が揃わないことが大半です。そうした中で結論を先延ばしにしたり検討に不必要な時間を割くのではなく、経験と知識に基づいて素早く的確に判断し行動します。

時間が、人生において最も貴重な財産であることを知っています。そして、素早い行動によって得られるフィードバックを何よりも重視します。



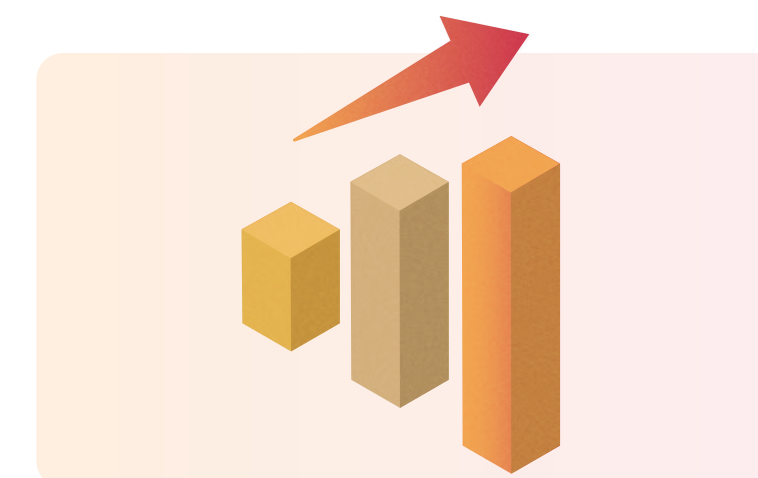
オーナーシップ

私は、目の前の課題の責任者です。目の前に課題ややるべきことがある場合、自分がその問題の原因の一部であることを理解しています。私は決して「それは私の仕事ではありません」と言いません。オーナーシップをもって、自分のために、会社のために、お客さまのために、その問題を解決します。



成果

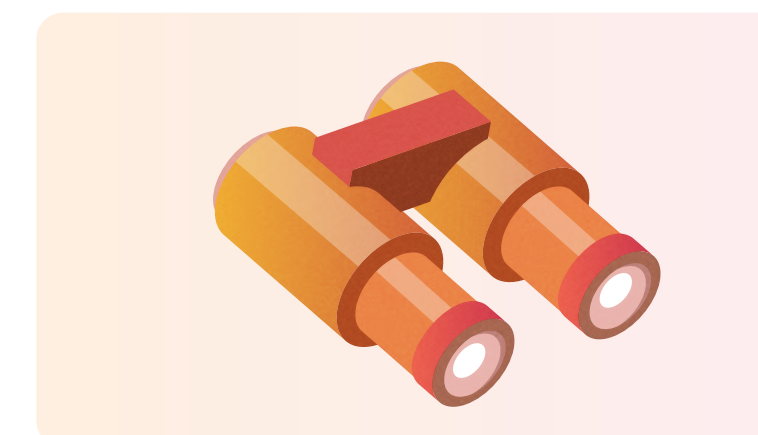
私は、私の仕事の結果に責任を持ち、成果で評価されることを理解します。私にとっての成果とは、顧客満足、期間の目標、長期的な利益、会社のブランド、仲間からの信頼の5つからなることを理解し、そのために必要なことを全力で行います。



顧客視点

私たちのミッションは「社会を変革し、はたらきやすい環境を生み出す」ことです。そして「社会」が「会社」の集合である以上、目の前のお客さま1人1人、1社1社に対する素晴らしいサービスの積み重ねこそがビジョンの実現に繋がることを理解します。

私は、良質なサービス、お客さまのことを第一に考える姿勢が、ゆくゆくは社会を変える大きな力になることを理解し、それを実践します。



私たちが大切にしていること

01

まずは自分たちがもっと働きやすく、 そして生産性を向上する

サーバーワークスは、働き方の選択肢を用意し、社員が最もパフォーマンスを発揮できる方法を自ら選ぶことを重視しています。「クラウドで、世界を、もっと、はたらきやすく」というビジョンを全社員が体現し、新入社員も含め意見を発信し合い、クラウド技術を活用した働きやすい環境づくりに取り組んでいます。

02

意見は誰でも平等に表明する

物事を検討する際、意見が対立する場合でも敬意をもって異議を表明し、妥協せず真摯に議論することを重視しています。一方で、決定されたことには全員が実現に向けてコミットします。年次を問わず意見を述べやすい場を作ることに力を入れています。

03

仕組み化を優先する

サーバーワークスでは、「成果」を大切な行動指針とし、個人の達成よりも他者でも同じ成果を効率よく生み出せる仕組みを高く評価します。たとえば、AWS環境構築の自動化プログラムを開発し、業務効率を向上させる仕組みを整備しています。

04

アウトプットする文化を大切にする

私たちは様々な技術的な知見やはたらき方の工夫などについて、自社の中にとどめるのではなく、積極的に発信して世の中に役立てることを推進しています。サーバーワークスの社員にとって、アウトプットも大切な仕事です。

Disagree and Commit.



反対意見があれば表明し、
決定事項にはコミットする。

✓ 意見は誰でも平等に

年次に関係なく自由に意見を表明できる場が設けられ、社員が積極的に発言することが奨励されています。

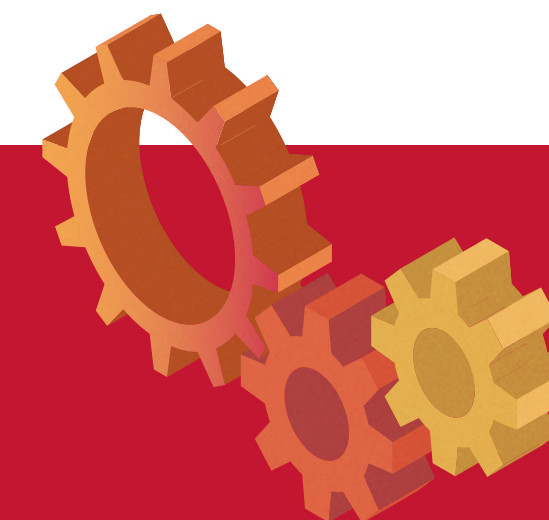
✓ 真剣に考えた意見は、真摯に受け止めます。

Disagree and Commit.という考え方を大切にしています。議論の際、同意できない場合には敬意をもって異議を表明し、安易に妥協せず真摯にディスカッションすることを求めます。しかし、決定されたことにはしっかりその実現に向けてコミットすることを求めています。

✓ いつでも、誰に向けても発言できる

代表の大石に対しては、CEOチャンネルにて。誰に聞いていいか分からない時、とりあえず相談できるチャンネルなど様々あり、日常的にコミュニケーションが行われています。

Incident Report



ミスは誰かのせいではない。
仕組みを考える

✓ 責任追及より仕組みで解決

ミスが発生した際には、責任を追及するのではなく、原因を分析し、再発防止のための仕組みを整えることを重視しています。これにより、迅速な改善が可能です。

✓ 重要なのは叱責よりも改善

ミスの報告が遅れることを防ぐため、ミスに対して叱責しないというルールがあります。これにより、社員は安心して問題を報告でき、改善が早く進みます。

✓ 障害報告でミスを対策

問題が発生した場合、インシデントレポートがタイムリーに提出され、全社員が閲覧できます。定期的に「障害報告会」を開き、関連部署が集まり、事例を共有して改善策を議論し、仕組みを整える活動が行われています。

技術だけじゃない！

全社員がなんでも聞ける #Ask Me Anything チャンネル

サーバーワークスで利用している各種ツールやサービスの使い方、この内容は誰に質問すればよいかわからない、リモートワークにオススメのWebカメラ、お客さんとのオンラインコミュニケーションで工夫していること、ちょっと疲れたので元気が出る方法、なんでも聞けるチャンネルが「Ask Me Anything」です。

上述のAsk Me Anything チャンネルも同じですが「ggrks」文化はサーバーワークスにはありません。だれかが困っているときに、まずは自身でなにかできることはないか考えてみる「オーナーシップ」を大事にしています。



よりよいコミュニケーションを。

Slackの利用ガイドライン

- | | |
|---------------|------------------------------|
| (1) 情報はオープンに | (4) ミスを叱責しない |
| (2) 通知は受け手で制御 | (5) 2回で伝わらなければ、Face to Faceで |
| (3) 否定しない | (6) オープンな発言であることを意識する |



オンラインツールを導入し、 リモートワークで減少する 社内コミュニケーションを活性化

社内コミュニケーションの質を保つためにバーチャルオフィスツール「ovice」を導入しました。仮想空間でメンバーが自由にテーブルを移動して会話したり、雑談や意見交換を手軽に行える環境を整えています。また、オンライン懇親会の開催など、住んでいる地域やオフィスに関わらず全国の社員とコミュニケーションをとることができ、社員同士の連帯感を育んでいます。



| 今週もがんばるぞ！毎週月曜は全社朝会

毎週月曜の朝会では、各部署のお知らせや新入社員紹介のほか、社長による「今週のMVP」や資格取得者の発表が行われます。MVPは行動指針に沿った活動が選ばれ、社内の理解促進にも貢献。最後に社長の談話があり、Slackでの活発な質疑応答も行われています。

| 四半期報告会で「いま」をキャッチアップ

四半期ごとの決算報告では、役員が数字を基に結果を振り返り、短期的な注力ポイントを発表します。全社員を対象に実施され、会社の現状や今後の課題を共有できる貴重な機会となっています。

| 半年に一度。全社員が未来に目をむける「キックオフ」

全社員がオンラインで集まり、振り返りと次の半年の方針を共有するキックオフを実施。Slackでのコメントやベストプロジェクト発表など盛り上がる工夫も満載です。フルオンライン化を経て、メンバーからも期待されるイベントになっています。

| 毎年1回全グループ会社で集まって表彰

サーバーワークスでは、1年間の功績や実績で会社に貢献した社員を称える社内表彰式を開催しています。受賞者の取り組みは全社員で共有され、努力や成果を讃え合うことでモチベーション向上やチームの結束を深める機会となっています。



多彩な部活動でつながる社内コミュニティ

食べ物や飲み物、映画、スポーツ、キャンプ、ガジェットなど、さまざまな部活動チャンネルがあります。設立・入部・退部は自由で、気軽にコミュニケーションが楽しめます。

リモート活動をする部も増えており、チャンネル名は「club-xxxxx」。入社したら、自分に合った部活を探してみてください。

リモート懇親会のフードボックス活用

チームの期初キックオフや大人数イベントでは、宅配フードボックスを活用し、リモートで懇親会を行っています。個人情報公開せず利用できるため、安心して食事と会話を楽しむことができます。

新しいカタチの社員旅行「サバたび」

サーバーワークスでは、「サバたび」という社員が行く先を自由に決めることができる新しい形の社員旅行を実施し、社員同士のコミュニケーションを促進しています。



社内の成長を高める勉強会

サーバーワークスでは、日々、様々な場所で様々な勉強会が随時行われ、社員自らが自分の持っているスキルを他のメンバーの成長の糧にするために積極的に開催を企画します。人に教えることで自分自身も成長する。そんな相乗効果で社内みんなの成長を促進しています。

勉強会



- 社内AWS勉強会(ハンズオンやサービス別勉強会等)
- フロントエンドもくもく会
- 資格対策

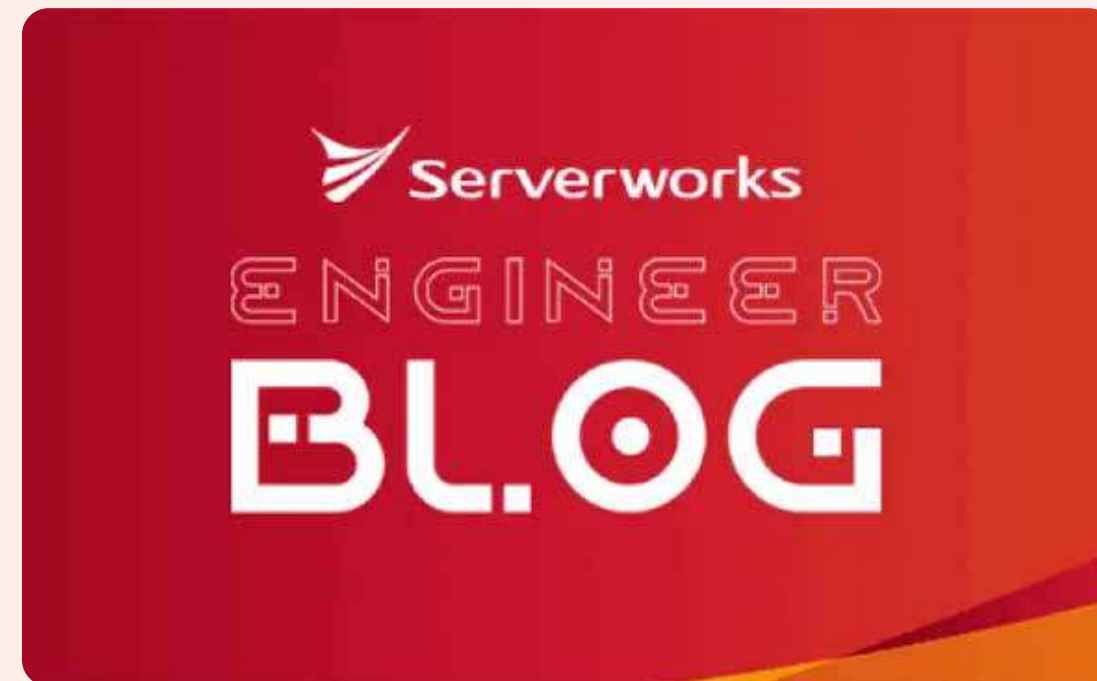
社内コンテスト



- 参加型ビジネスアイデアコンテスト「サバラボ1st」
- ビジネス推進のプロと育む事業計画フェーズ「サバラボ2nd」

| エンジニアblog

クラウド専門インテグレーター・サーバーワークスの中の人々が、あらゆる技術についてお届けします。



| 公式Youtubeチャンネル

「サーバーワークス」の公式チャンネルです。AWSの最新アップデート情報や社員インタビューなど、多岐にわたる動画を公開中です。



| オープン社内報「サバワク」

サーバーワークスのオープン社内報です。はたらき方やはたらく人など社内情報をアップしていきます。



| 全社員参加型ビジネスアイデアコンテスト「サバラボ」

社員が自らビジネスアイデアを企画、提案する、ビジネスアイデアコンテストです。



5. 働き方・制度 Environment

生産性の高い働き方を社員自らが選択する

チームおよび個人の生産性をいっそう高めることを目的に、はたらくための様々な環境を社員自らが選択できる仕組みとすることで、社員一人ひとりに適したはたらきかたの実現と、企業の生産向上を実現し、顧客へ最適なサービスと価値提供を推進しています。

クラウドワークスタイル

Place

- ローカル勤務
- オフィス勤務
- 在宅勤務
- 顧客訪問
- ワークेशन

ワークスタイル手当

Tool

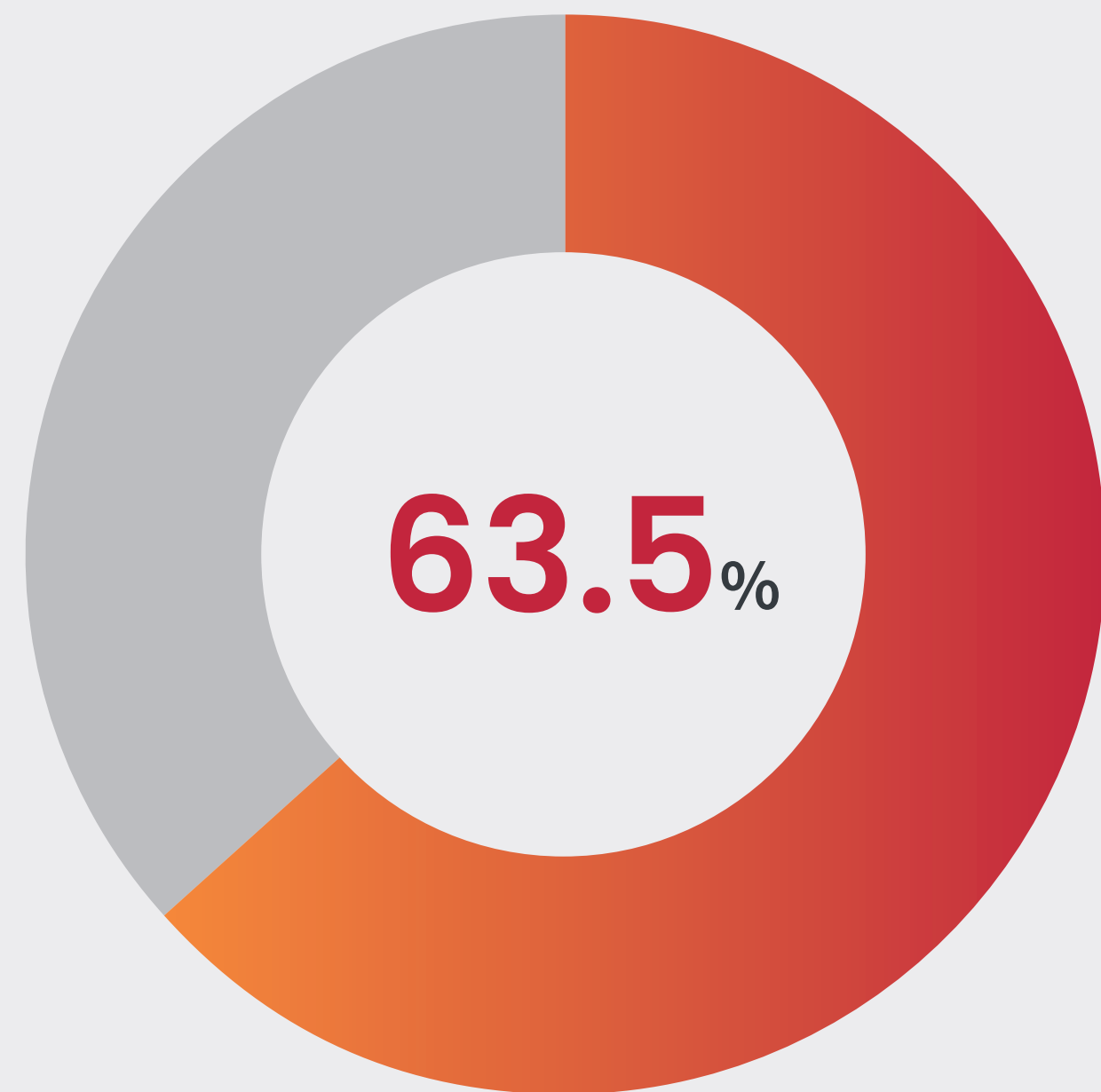
- BYOD
- 貸与PC
- 好きなデバイスを利用

BYOD手当

Time

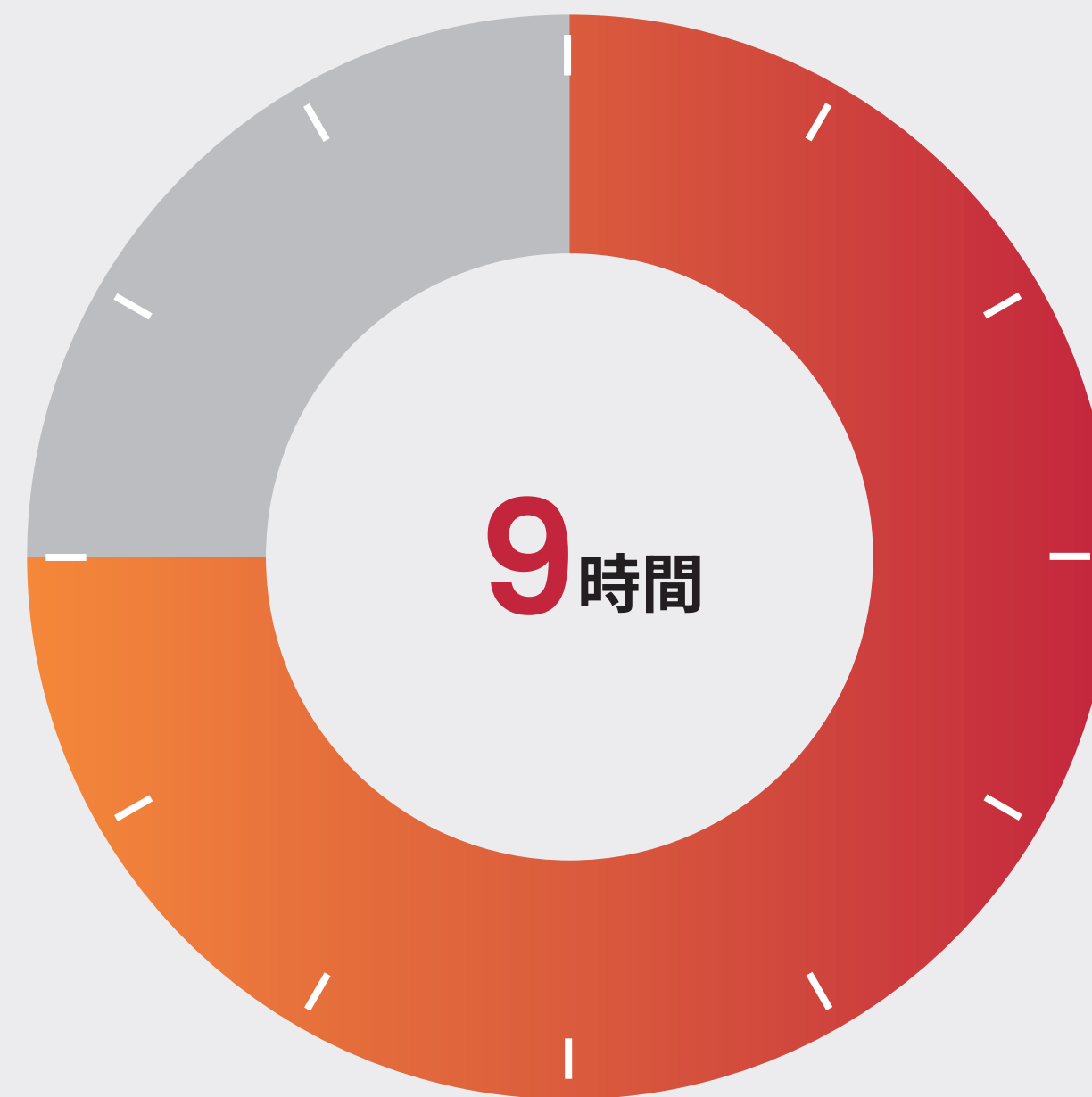
- フレックスタイム制
- 裁量労働制
- リフレッシュ休暇
- 時間単位有給

有休消化率



(2024年度)

残業時間



(2024年度)

産育休復職率



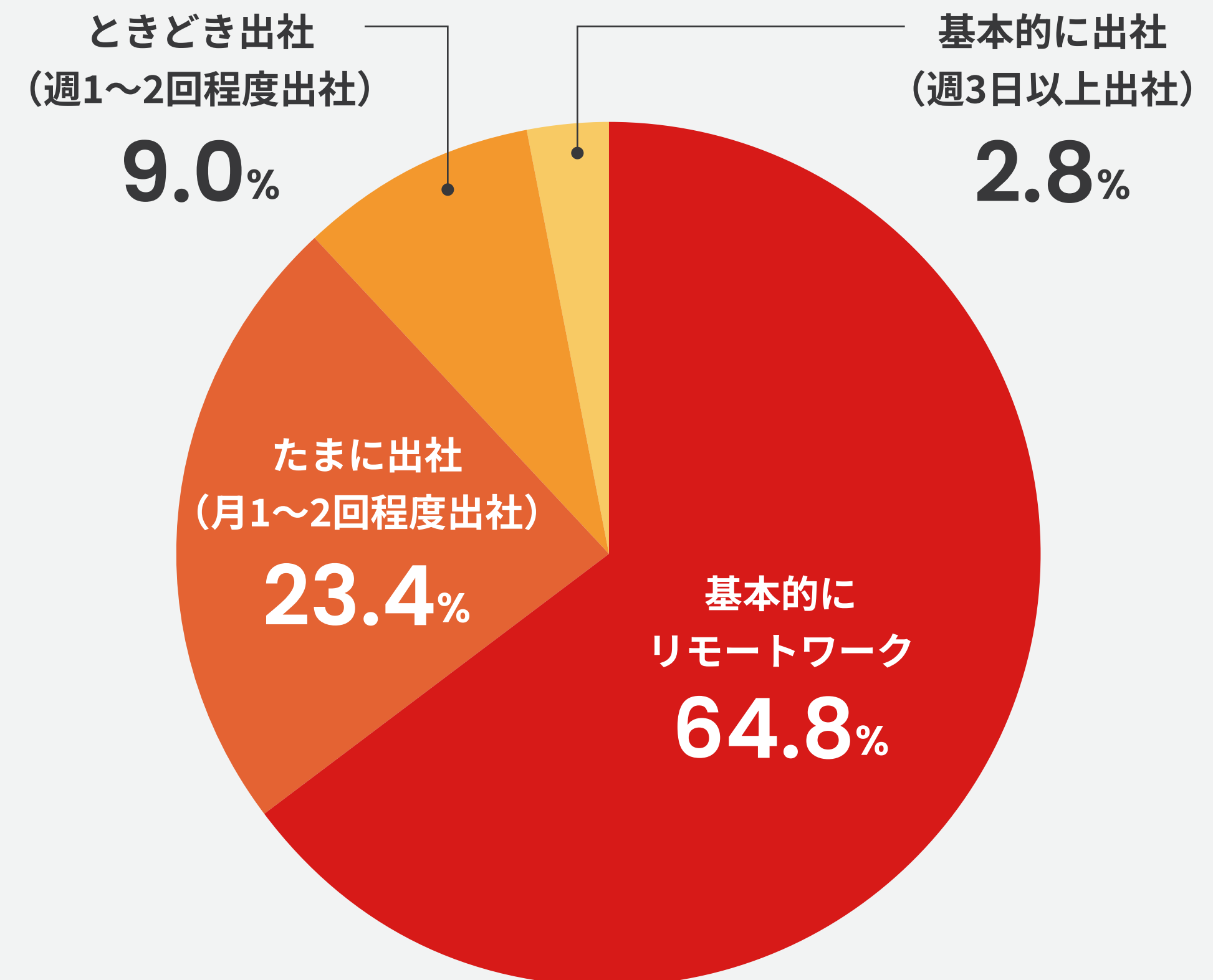
(2024年度)

リモートワーク率



(2024年4月現在)

内訳



L1グレード(新卒新入社員～)

定時労働制

L1グレードでは、10:00～19:00の定時労働制を基本としています。業務状況による早朝勤務や残業は、上長の許可を得たうえで実施されます。また、業務中の私用などがある場合は、1時間単位で取得可能な有給休暇(時間休)を利用することができます。

L2グレード

フレックスタイム制

フレックスタイム制では、月間の所定労働時間内で始業・終業時間を自由に調整可能です。1日の労働時間も状況に応じて柔軟に変えられるため、繁忙期は10時間、閑散期は6時間といった働き方も選べます。ただし、所定労働時間(8時間×営業日数)は遵守する必要があります、裁量労働制との違いとなっています。

L3以上

裁量労働制

サーバーワークスでは、L3グレード以上に裁量労働制を適用し、働く時間ではなく成果で評価する仕組みを導入しています。成果を出せる社員には、仕事の時間配分を個人の裁量に任せる考え方を徹底しています。そのため、「半休」の概念はなく、日中の私用も堂々と予定に入れて調整する働き方が浸透しています。



グレードと役職を分離、役割を担うという考え方で運営

グレード

6つのグレードがあり、それぞれに期待される役割や責任の範囲が定められています。自分のグレードで求められることや、次のグレードで期待されることが明確に示されているため、社員が自分自身で目標を立て、成長していくことができる仕組みになっています。これにより、社員が自律的にキャリアを築き、成長をサポートする体制を整えています。

グレード	グレード定義
L6	マーケットや世の中に対して、自社の影響力を高める人
L5	社会全体に及ぶ視点を持ち、経営目標の実現をけん引する人
L4	所属するチームを超えて影響を与え、組織の成果に責任を持つ人
L3	組織や自分のミッションから自ら仕事を作り出し成果を出す人
L2	与えられた業務に対し、自ら判断して業務を遂行する人
L1	上司や先輩の指示に従って業務を遂行する人(新卒はここから)

役職とグレード

当社では、部長や課長といった役職は「役割(ロール)」として担うものであると考え、グレードとは切り離して考えています。役職によって給与額を決定していないので、一定期間はマネジメント業務を行い、その後は専門性を生かした業務に戻るなどマネジメントと専門職を繰り返す人もいます。マネジメントはとても責任ある役割ですが、それによってキャリアが固定化されることなくライフステージや自身のキャリアプランによってさまざまな経験をすることができます。

グレード	〇〇部	××部
L6	部長	
L5	専門職	部長 課長
L4	課長	専門職
L3	メンバー	メンバー
L2	メンバー	
L1	メンバー	

平均給与

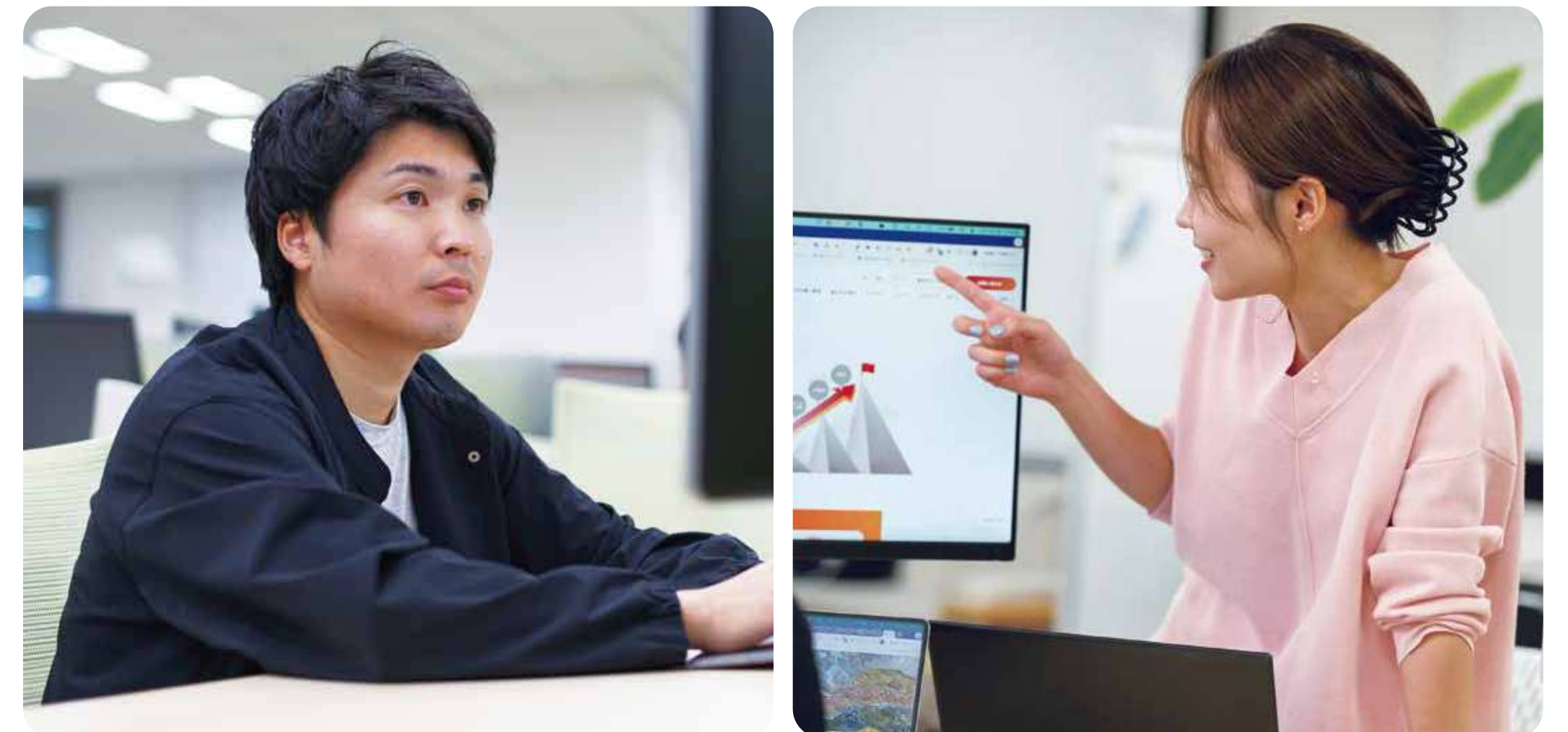
695万円※

昇給実績

5.8%

(直近3年間の平均)

※ 平均給与は正社員、契約社員の月給及び賞与(年2回)、時間外手当等の各種手当を含んだ支給実績を基に算出しています。



暮らしを支える福利厚生の一部をご紹介します。

従業員持株会

サーバーワークスで働く人が自社の株式を取得できる制度です。
自社の株式を自分の財産として取得することより、より一層会社の経営に参加し、会社の成長と共に社員の財産形成にも寄与できることを目的としています。
この制度を利用する場合は、その拠出金の20%が会社からの奨励金として支給されます。

社員紹介制度

社員紹介（リファラル採用）の制度があります。紹介した方が入社した時にはもちろんのこと、カジュアル面談や採用イベントへ参加したり、選考に進み応募書類を提出した時点で、紹介いただいたメンバーには報酬金を支給しています。入社時には応募者の方にも支給されます。「まずは話を聞いてみたい」という方でも気軽に紹介できるような仕組みです。

各種休暇制度

- **リフレッシュ休暇（特別休暇の1つ）** 従業員は、1年間で3日間、有給休暇や会社の休日（土日・祝日）とは関係なく休みを取得することができます。
- **家族看護休暇** 2親等以内のご家族の看護や通院の付き添いなどのための休暇として、年5日（小学生未満の子が2人以上いる場合は10日）付与されます。
- **有給休暇** 入社3か月後に10日付与され、その後4/1に在籍年数に応じて相当日数が付与されます。
- **慶弔休暇** 従業員が家族の慶弔事や特別な事情が発生した際に取得できる特別休暇です。

BYOD制度／AWS検証環境アカウント付与

- **BYOD制度** 生産性向上を目的に、社員が自身の使い慣れたパソコンやスマートフォンを業務で利用できる「BYOD制度」を導入しています。使い慣れたデバイスを活用することで操作の効率が上がり、快適に業務を進められる環境を整備しています。また、BYOD制度利用者には毎月手当を支給しています。
- **AWS検証環境アカウント付与** エンジニアや希望者には、毎月2万円までのAWS利用料金を会社が負担しています。この範囲内で自由に利用でき、検証や学習、新サービスの体験などに活用可能です。社員は積極的に「まずは触ってみる」というクラウドの特性を活かした取り組みを行っています。

新卒採用社員向けサポートプログラム

新卒入社後、ビジネスプロセスや業務の進め方をOJT(On the Job Training)を通じて学びます。

各部署を回り、実務を体験しながら全体像を把握できるようにサポートします。

※実施期間や内容は年度により異なりますが、24卒は約1年間のOJTを実施しています。

研修スケジュール例 ※2024年の実施例

4月	IT基礎研修	オンボーディング研修
6月	AWS基礎学習	
7月	部門紹介プレゼン	OJT
11月	模擬案件	
1月		配属希望面談
2月	まとめ	
3月	配属	

新卒採用社員向けサポートプログラムの特長

約半年～1年間の研修期間



入社後半年以上の時間を利用しITの基礎知識からAWSの専門知識を身に着けるだけでなく、サーバーワークスで自身の効果的な学びを得続けられるキャリアプランを思考する重要な期間となっています。

ビジネスフローを体感するOJT研修



OJTにて実際の業務内容をリアルに体感します。複数部署に行っていただいています。そのため実際の業務を行い自身の適性を判断できることに加え、ビジネスフローをリアルに体感する機会となっています。

効果的な学びを促進するサポート制度



メンターをはじめとする先輩方が、効果的な学びをサポート。学習やリモートワークへの不安等に寄り添いつつ、自身のキャリアの選択肢の提示も含め相談でき、主体的に業務に取り組めるような支援をします。

自身のキャリアプランを踏まえた本配属



研修期間を通して得た学びをもとに自身のキャリアプランを話します。得意/苦手分野も考慮し配属先が決定されます。自身の意思が一番重要な配属先決定理由になるため、研修の成果をここで発揮していただきます。

詳しくはサイトへ <https://www.serverworks.co.jp/recruit/training/>

キャリア採用社員向けサポートプログラム

約4カ月のオリエンテーションやカルチャー課題、新入社員トレーナーによるサポートなど、多様なプログラムを通じて、キャリア採用の方がスムーズに適応し、経験を活かせる環境を整えています。

※エンタープライズクラウド部/カスタマーサクセス部/マネジメントサービス部の研修例

研修スケジュール例

1か月目	座学
	AWS・SaaS ハンズオン
	理解度チェックテスト
2か月目	模擬案件
3か月目	模擬案件
4か月目	まとめ
5か月目	本配属

キャリア採用社員向けサポートプログラムの特長

4ヶ月の充実した研修期間



実際のプロジェクトに参画していただく前に、入社後4ヶ月間、AWSプロジェクトで必要とされる知識やスキルを身につける研修を実施します。実践的なカリキュラムを通じて、基礎から応用までしっかり学べます。

ロールプレイングベースの実践型研修



研修はロールプレイング形式で仮想プロジェクトを進め、顧客対応や部門連携、AWSプロジェクト経験を積めます。これにより、経験が浅い方も安心して実務に参加できる準備が整います。

経験豊富なエンジニアが専任でサポート



研修期間中は豊富なプロジェクト経験を持つ専任エンジニアがサポート。模擬案件での助言やフィードバックに加え、環境の変化やリモートワークへの不安にも寄り添い、安心して実務に取り組める準備を整えます。

得意領域とキャリア希望を踏まえた本配属



実践形式での研修により見えた得意分野は、配属部門とも連携。キャリアの希望とも考慮し、得意が活かせる業務への本配属をおこなっています。配属後もより経験を活かしやすくするための仕組みを整えています。

詳しくはサイトへ <https://www.serverworks.co.jp/recruit/training/>

クラウド技術の専門家として、AWSやインフラ関連の知識を身につけ、実務経験を積むことが重要です。
そのため、AWS認定資格などの資格取得支援を行っています。

AWS認定資格

基本コース Foundational



プロフェッショナル Professional



アソシエイト Associate



専門知識 Specialty



受験料サポート

AWS認定資格取得の受験料は、会社が全額負担します。



社内勉強会の実施

過去に資格試験に合格した社員による勉強会を開催しています。



全社的な資格取得

総務・経理・人事などバックオフィスの社員も含め全社員の大多数がAWS認定資格を取得しています。



AWS利用予算のサポート

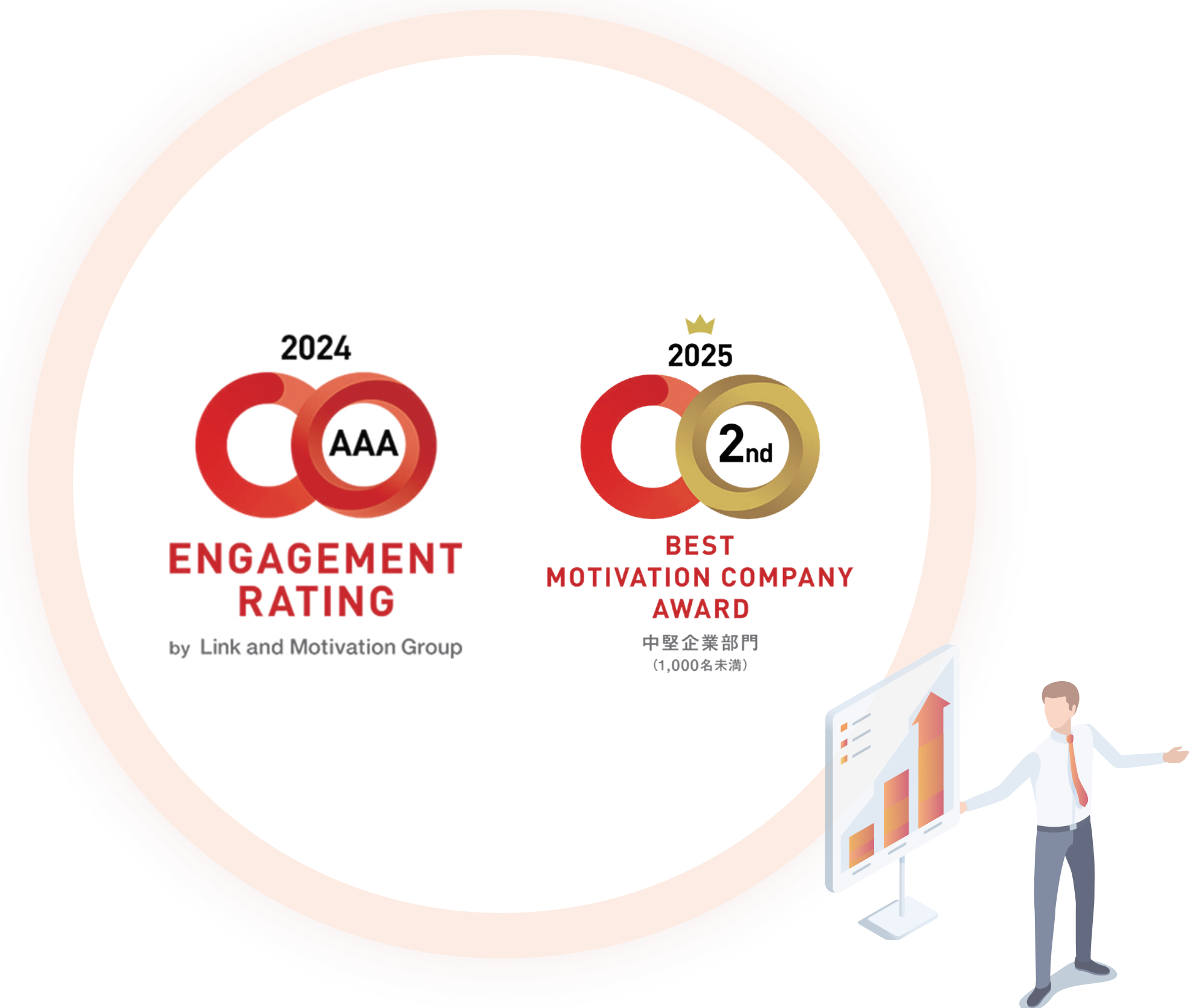
エンジニアには年間24万円までAWS利用料金を会社が負担。検証や学習に自由に活用できます。

詳しくはサイトへ <https://www.serverworks.co.jp/recruit/training/>

「モチベーションクラウド」[※]における 最高評価「AAA」ランクに加え カンパニーアワードの受賞

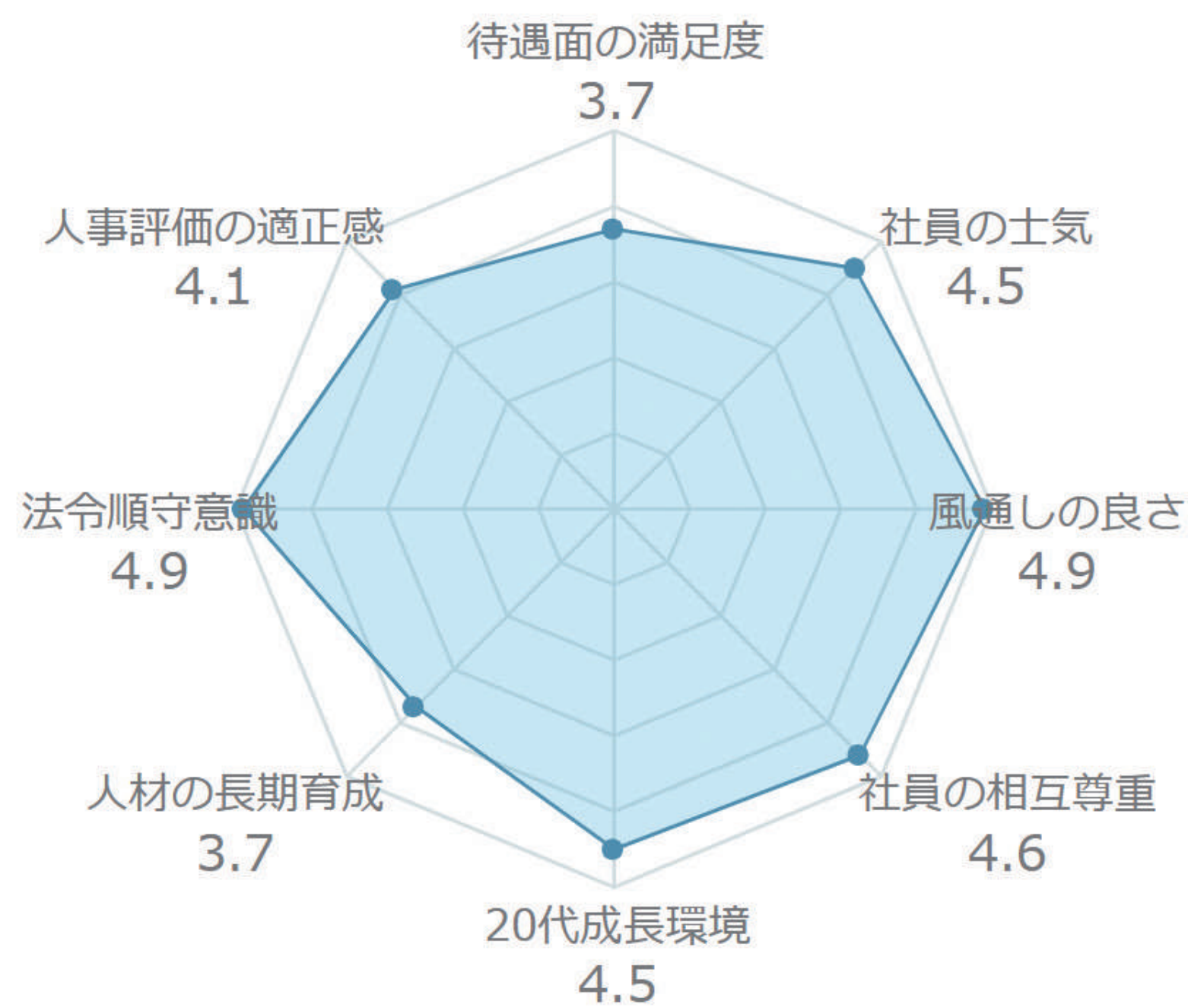
サーバーワークスは株式会社リンクアンドモチベーションが提供する組織改善クラウド「モチベーションクラウド」において、最高評価の「AAA」ランクを獲得しました。

「AAA」ランクは、サーベイ実施企業の中で上位5%のみが獲得できるランクです。



※モチベーションクラウドとは：業員エンゲージメント市場のベンダー別売上金額およびシェア7年連続で第1位（2017～2023年度予測）を獲得し、延べ11,590社422万人以上という国内最大級のデータベースをもとに組織状態を診断し、従業員エンゲージメント向上を支援する株式会社リンクアンドモチベーションのクラウドサービス

平均スコア4.5と
全体上位1%に入る高いスコアを誇る



★★★★☆ 4.56 上位 1 %

回答者：30人

残業時間（月間） 14.4 h

有給休暇消化率 80.5 %

※OpenWorkとは：オープンワーク株式会社が運営する、就職や転職のためのジョブマーケット・プラットフォーム。企業に関する在籍社員および退職者のクチコミや会社評価を掲載
※出典：OpenWork 社員による会社評価スコア（2025年4月時点）

6. 採用 Recruit

募集職種	総合職（セールス・エンジニア）採用サイトへ https://www.serverworks.co.jp/recruit/guideline-newgraduate/				
業務内容	サーバーワークスでは、入社後半年～1年間の研修を通じて基礎を固めたうえで、ご本人のキャリアイメージや希望をヒアリングし、配属先を決定します。 AWSというクラウドサービスを活用し、情報システムのインフラ基盤の企画・設計・構築・運用までを一貫して提供する業務に携わります。 営業職 お客様が抱える課題の根本を引き出し、どう解決するかを提案していきます。単にAWSサービスを提案するのではなく、「根本の課題は何か」「なぜ新しいIT環境が必要なのか」という視点を持ち、最適なIT環境と一緒に考えて課題解決のための伴走支援をします。 エンジニア職 エンジニアは、AWSを用いたクラウド基盤の構築やアプリケーション開発、運用設計を担当します。オンプレミスからクラウドへの移行やサーバーレス開発、自社プロダクト開発、社内システム構築など、幅広い技術に触れる機会があり、将来的にプロジェクトマネジメントなどのキャリアを目指すことも可能です。				
選考フロー	会社説明会 経営陣や先輩社員から直接話が聞け、質問ができる説明会です。 ※説明会に参加いただいた方にのみ選考のご案内をしています。	一次選考：グループ面接 グループ面接（学生最大3名、面接官2名）。就職活動で大事にしていることや、IT業界でやりたいことなどについてお話を伺います。	二次選考：個別面接 学生時代に力を入れた活動や、ご自身のやりたいことがサーバーワークスで実現できるかについてお話をお伺いします。	最終選考：個別面接 取締役や人事部長が参加いたします。お互いに理解を深められるように、ぜひ何でも聞いてください。	内定 最終選考で合格になりましたら内定とさせていただきます。

募集職種	募集職種一覧はこちら 求人一覧ページのトップへ https://www.serverworks.co.jp/recruit/guideline-career/			
業務内容	詳細は求人一覧ページの各求人内容をご確認ください。			
選考フロー	 書類選考/適性検査 履歴書/職務経歴書をいただき、該当部署にて確認させていただきます。通過となった方へは一次面接のご案内をいたします。	 一次面接 現場メンバーまたは課長が面接官として対応させていただきます。	 最終面接 現場部長+人事が面接官として対応させていただきます。	 内定 おめでとうございます！

大手SIerからの転職で重視したのは、 スキルアップできる環境でした。

エンジニア 伊藤 一喜 2023年4月入社

カスタマーサクセス部 CS2課

Question.01

入社理由を教えてください

前職では大手SIerでオンプレミス環境を扱うインフラエンジニアをしていましたが、10年働く中で「この先20年、30年同じ場所で働き続ける自分」が想像できず転職を考えました。サーバーワークスを選んだ理由は、AWSの最上位パートナーであり、クラウド技術に強みを持っていたからです。前職でクラウドに触れる機会があり、その可能性を感じて「これからのエンジニアに不可欠な技術」と確信しました。また、中途入社エンジニア向けに3か月の手厚い研修が用意され、スキルアップの環境が整っている点も大きな魅力でした。

Question.02

サーバーワークスの強みは何だと思いますか？

サーバーワークスの強みは3つあります。1つ目は「スピード感」。誰かが改善を提案すると、すぐに反応やサポートが得られる風土があり、変化に前向きな姿勢が特徴です。2つ目は「充実した研修」。3か月間の模擬案件では、鋭いフィードバックを通じてプロジェクトを効率的に進める力を学べ、苦労した分、大きな成長を得られました。3つ目は「働きやすさを重視した文化」。社内部活動や「サバたび」社員旅行などのイベントを通じ、フルリモートでも一体感を感じられる環境が整っています。

好奇心のままに突き進める「聞く耳を持った」組織。

エンジニア 折口 祐介 2020年1月入社

エンタープライズクラウド部クラウドコンサルティング課 / 課長

Question.01

入社理由を教えてください

取引先として、サーバーワークスの仕事の質やカルチャーの素晴らしさをよく知っていましたが、入社を決めた理由は「選択肢のある柔軟な働き方」に惹かれたからです。前職の情シスでは安定した環境にいましたが、自分の将来を考えたときに「ITを突き詰めること」と「趣味のカメラやバイクを楽しむこと」という二つの軸を大切にしたいと思いました。どちらも諦めたくないという欲張りな想いを代表の大石に伝えたところ、「一緒に方法を探そう」と言ってくれたことが決め手でした。この言葉に背中を押され、両立を目指す働き方に挑戦できると確信しました。

Question.02

仕事のやりがいはどこに感じていますか？

現在最もやりがいを感じているのはクラウドシェルパの推進です。単なるシステム導入を超え、お客様の課題を共に考え、導く役割を担うこのサービスは、サーバーワークスのAWSへの取り組みの集大成だと感じています。その方向性が、自分がITを目指した理由と一致していることも大きなモチベーションです。また、共鳴するメンバーと一緒に進めるチームづくりにもやりがいがあります。リモート主体の中でも、現場派の私は1on1や飲み会を通じたコミュニケーションを重視。「このチームで働きたい」と思われる環境をつくることがリーダーとしての挑戦です。

営業4年目の出来事が、今の私を支えています。

セールス **中嶋 麻衣子** 2010年4月入社

アプリケーションサービス部営業課 / 課長

Question. 01

入社理由を教えてください

大学生のとき、リーマンショックの影響で就活が難航し、広告営業を第一志望にしていた私に、就活支援の方が「ITも考えてみたら？」とアドバイスをくれました。その流れで参加したサーバーワークスの説明会で、代表の大石さんが「ITが分からない人にその素晴らしさを伝えたい」と熱弁していたのが印象に残っています。IT未経験の自分でも挑戦できるかもしれないと思えた瞬間でした。現役のエンジニアや営業の方々が登壇し、リアルな言葉で仲間や仕事について語る姿も魅力的でした。選考は驚くほどスムーズに進み、就活が長引いていたこともあり、説明会の印象が良かったサーバーワークスを選びました。

Question. 02

エンジニアから営業へ、 ジョブチェンジしたきっかけを教えてください

当時、営業は1人が担当しており、忙しくなってきたことで「営業がもう1人必要」との要望がありました。その際、「中嶋が元気がなさそうだから環境を変えてみるか!」という雰囲気、私が営業に異動することに。エンジニアとして行き詰まっていた私にとっても、異動は渡りに船で「ダメなら辞めよう」と思いつつ挑戦しました。異動後は羽柴さんをサポートする役割でしたが、ある程度の裁量もあり、やりがいを感じました。さらに、1年とはいえエンジニアの経験が営業でも役立ち、導入時に必要なことや起こり得る問題を予測できたのも大きな強みでした。

7. サーバーワークスの今 The present

新潟県に「株式会社サーバーワークス・スマートオペレーションズ」を設立

以下の特長を持つサービスを提供いたします。

(01)

NOCとSOCの融合

日本では珍しい、NOC (Network Operation Center) とSOC (Security Operation Center) を融合したワンランク上のサービスを提供いたします。

(02)

人とAIの融和

人とAIの協働を積極的に進めることで、運用現場における人の役割をオペレーターからエンジニアへ底上げし、優秀な人材の育成を目指します。

(03)

働き方の進化

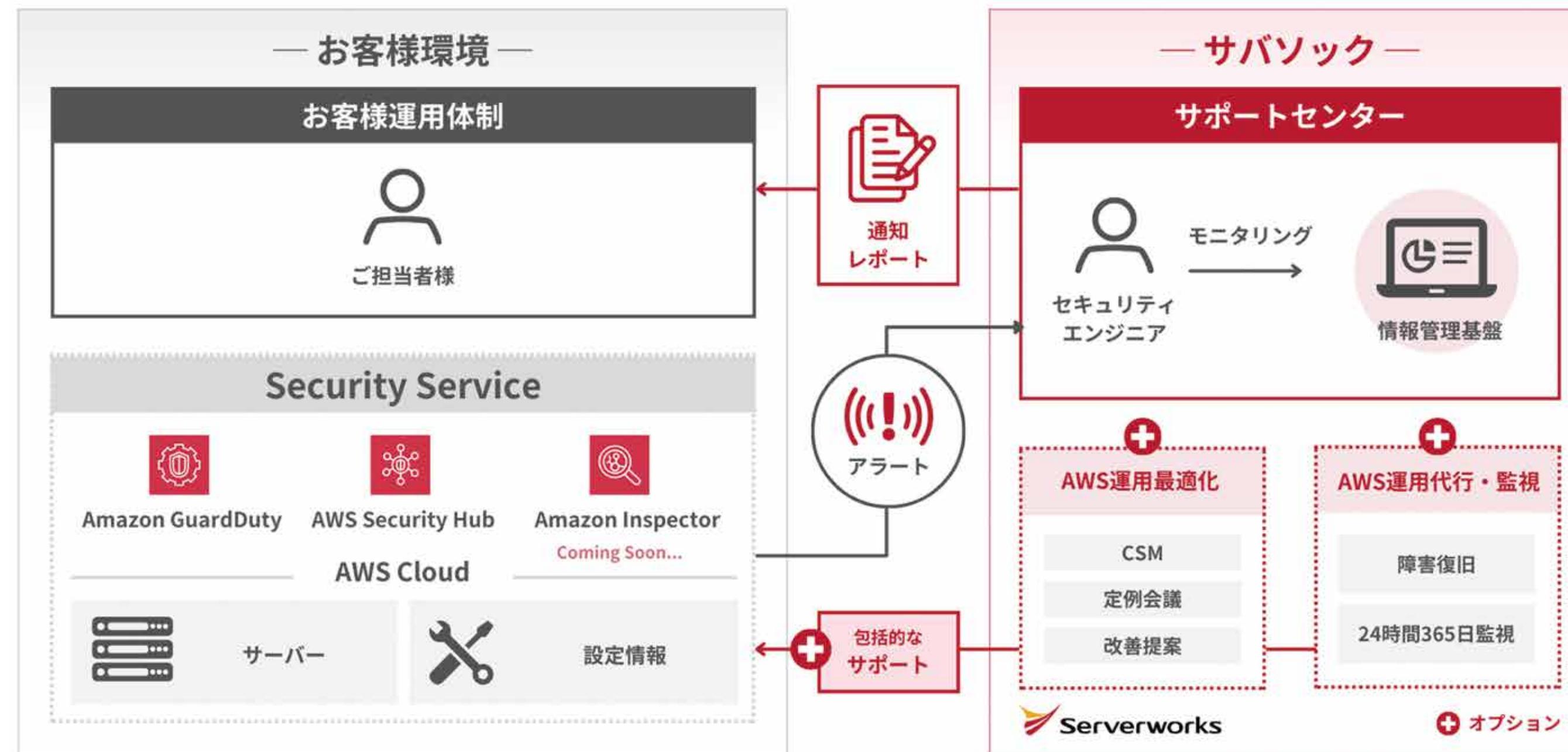
多様な働き方を支援する柔軟なIT環境を構築し、従業員一人ひとりがより生産的に働ける環境を実現します。



“安心・安全・スピーディ”なマネージドセキュリティサービス「サバソック」の提供開始

昨今のクラウドのセキュリティ強化の需要に応える

24時間365日の監視・セキュリティ検知と生成AIを活用した高精度なレポートで安心な環境を提供



(01)

安心

これまでの知見やノウハウを基にセキュリティ運用を自動化。生成AIを用いたレポートで安心をお届け

(02)

安価

お客様が必要とするセキュリティ対策をアラカルト方式で導入可能

(03)

スピーディ

AWSが提供する標準サービスと自社開発の「Cloud Automator」で構成、スピーディな導入が可能

代表からのメッセージ

これからのサーバーワークス

クラウドもバリエーションが増える中「これからAWSはどうなるの？」と聞かれることも増えてきました。一方で、私たちは「AWSは未だに成長途上であり、これからも需要は増える」と見込んでいます。日本ではまだ”オンプレミス”と呼ばれる自分たちでサーバーを所持している企業が数多くいらっしゃいますし、クラウドに移行していきたいというニーズも増加傾向にあります。それだけではなく、すでにクラウドに移行したお客様からも「よりクラウドネイティブなクラウドの使い方をしていきたい」、「クラウドの上に乗ったデータをうまく活用して生成AIのパワーを引き出していきたい」などのご相談が増えています。

私たちはこうした需要に積極的にお応えし、まずはクラウドへ移行しつつ、その後の運用最適化、アプリケーションのモダナイズを推進することで、お客様のITインフラをより効率的かつ効果的に運用するサービスを拡充していきます。

また、当社ではセキュリティの領域にも非常に力をいれています。昨今、情報漏洩やランサムウェアなどセキュリティインシデントは増加傾向にあり、「クラウド上のシステムやデータにセキュリティに問題がないか」という点にも社会の関心が高まっています。

そうした中、私たちがこうしたクラウド上のシステムを24/365の体

制で検知からリカバリーまで対応するセキュリティサービスも展開していくことによって、お客様がより安心してクラウドを活用し、生成AIや新しいアプリケーションなどのパワーを享受できる環境を提供していきたいと考えています。

入社を希望される方へ

今後もIT技術は多様な発展を続ける中、そのベースとなるのはクラウドであると私たちは考えています。そのため、これからのIT技術者には「クラウドに関する基礎知識を確実に習得し、その上でモダンなアプリケーションやユニークなWebサービスを展開するための知識セットを構築していく」という流れになっていくと考えています。

これから先も使われるであろう、AWSのような最先端の技術を身に付けておくことは、みなさんがキャリアを形成していく中で非常にプラスに働くものと期待しています。私たちは、サーバーワークスに入社した全ての方に「この会社に関わったことが、人生にとってプラスとなった」と感じていただけることを強く願っています。

サーバーワークスで知識・経験・技術力を身に付け会社や社会に貢献したいという思いを持ち、当社のビジョンに共感いただける方からのエントリーを心よりお待ちしております。

代表取締役社長 大石 良



クラウドで、世界を、 もっと、はたらきやすく

<https://www.serverworks.co.jp/recruit/>

